



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

●本日 グループミーティング	会員誕生日 3月24日 越野 俊興 3月26日 斎藤 敏夫 3月28日 行徳 幸治	結婚記念日 3月23日 明澤 正樹 3月23日 高田 潔
●次週予定 会員卓話 「電気が家庭に届く仕組みについて」 斎藤敏夫会員		

No. 2457

第34回 3月23日

出席報告

前例会

会員総数	45名
出免会員	8名
出免出席	4名
出席会員	25名
出席率	70.73%

前々例会

第31回 2月23日

欠席会員	7名
内メイクアップ	1名
修正出席率	76.74%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 先に会員皆様にファックスにてお知らせを致しましたが、国際ロータリーのレイ・クリンギンスミス会長より留萌ロータリークラブ会員あてに、留萌RCの創立50周年に対して国際ロータリーを代表して「お祝いの言葉」を頂きました。
- 赤平ロータリークラブより創立50周年記念式典・懇親会の案内を頂きました。日時は5月29日(日)式典は午後3時より、懇親会は午後5時30分より7時まで、会場は赤平市交流センター「みらい」となっています。登録料は12,000円です。
また、記念ゴルフ大会は前日の5月28日(土)空知カントリークラブにて午前11時受付、12時スタートとなっています。昼食・カート・

- キャディ付でビジター料金7,800円となっています。登録締切りはいずれも4月12日となっています。参加ご希望の会員は幹事にお申し出下さい。
- 地区大会の社会奉仕フォーラムの報告が「社会奉仕レポート」として小雑誌にまとめられ届けられてきました。この中に留萌ロータリークラブが昨年8月に行った「そらぶちキッズ・キャンプへの支援」が詳しく掲載されています。回覧をしますのでご覧下さい。
- この度の「東北・関東大震災」にあたり、大韓民国・論山ロータリークラブの河先生よりお見舞いのお電話が澤田会員にありました。澤田会員より「留萌地方は無事であった」旨のお話をして頂きました。

📄 幹事報告

- 2010-11年度、R I 公式名簿記載書式を受領いたしました。
- 2011-12年度、地区協議会開催案内を受領いたしました。4月10日(日)グランドパーク小樽です。3月9日に渡邊副幹事にお渡しいたしました。
- 羽幌RCより、2月会報および3月のプログラムを受領いたしました。
- 会員増強委員会で、次回夜間例会の出欠確認を致しております。

📄 3分間情報

「識字率向上月間」

R Iは毎年7月を「識字率向上月間」と指定し、1997~98年度に発足し、活動してきたが、7月は北半球の学校は夏季休暇の時期で識字率関連行事に最適の月ではないとして、2006~07年度よりこの月間は3月に変更になった。

現在、世界に約10億の非識字者・非計算能力者が居て貧困の原因になっていると推定されている。特に発展途上国の多いアジアでは人口増加と共に未就学児童が増え続け、このままでは読み書き、計算が出来ない子供が増え、さらに貧困と飢餓の進行と社会不安が憂慮されることから、この月間を指定しロータリーの力を結集することによって、識字率の向上と、ひいては貧困と飢餓をなくし世界の平和にも寄与しようとするものである。

【三二情報】

「おあいそ」

昔は常連になると飲み代は全額払うのではなく、毎回一割ぐらいはツケとして残しておくのが粹な飲み方で、反対にツケを払いきる事はその店と縁を切る事を意味していた。

おあいそは「愛想が尽きた。ツケを払いもう二度と来ない」という意味。

本来は馴染みの店では使用禁止用語だが、今では日常的に勘定を支払う時に使われている。

「北海道電力より災害に関する節電について」

齋藤 敏夫 会員

北海道と本州を結ぶ送電線(北本連携設備)にて最大60万kwの送電を開始しておりますが、北海道の電力は不足をしておりません。過剰な節電はしなくても大丈夫です。

また、節電を訴えるチェーンメールが出回っておりますので十分に気を付けてください。

📄 ニコニコBOX

- 東北・関東大震災で、仙台に住んでいる姪一家に連絡が取れずに心配しておりましたが、一昨日やっと連絡が来て一安心しました

二ノ宮会長

前 回	619,500円
今 回	5,000円
累 計	624,500円

📄 プログラム

「WCSタイ検証ツアー報告」

西谷 英樹 会員

早いもので、タイ検証ツアーから帰って1カ月が経ちました。この間に田中例会運営委員長に録画してきた映像を編集していただいたり、



パワーポイントを作成していただきました。田中先生ありがとうございました。

私の説明にわかりにくい説明があったとしても、田中先生のDVDの出来栄えに免じて許していただきたいと思います。

では、最初はPPTにそって進めていきたいと思ひます。後半にDVDを15分程流します。

まず、最初の資料はタイ検証ツアー5日間の日程の表紙でございます。平成23年2月9日から13日までの4泊5日でPM12:00新千歳空港

専用待合室に集合と書かれています。ちなみに田中先生は前日に札幌に宿泊して万全の態勢で空港入りしておりました。私は、当日冬道だと3時間見るところを串橋会員の寝坊の心配のないことから余裕をもって4時間前の8時に嫁の悲しそうな顔を振り切り家を出ました。天候は悪く、運転のしにくい路面状態だったためか、旭川鷹栖-滝川間の道央道で事故があり、私は深川西で降ろされ12号線で滝川ICに向かい約40分ロスして空港に向かいました。結局集合時間の40分前には着くことが出来、産経海外旅行の添乗員兼札幌北ロータリークラブの斉藤さんのツアーの説明、注意事項を聞きながら幕の内弁当を食べて出発いたしました。

今回は25名で検証ツアーに行きましたが、先にもう行かれてバンコクで合流する方や、残ってバカンスを楽しむ方も数名いらっしゃいました。

これは前半のタイムスケジュールです。千歳を14:10に出発、成田空港に15:55に到着。出国審査して成田を18:05に出発してタイのバンコクに向かいました。約7時間半のエコノミーシートで、私の体型を考えますと非常にキツイ時間なので、お酒の力を借りて眠りにつくことを考えビール・ワイン・スコッチと15杯ぐらい飲みすぎて具合が悪くなり結局一睡もせずバンコクに着いてしまいました。途中、田中先生を見ると、アイマスクとマスクと機内用携帯枕で万全の就寝でした。しかし、顔がまるで見えなくなっていたので異様な光景でした。

日本時間の午前2時にバンコクのホテルに入り約4時間程度仮眠をとり、明朝5時にホテルを出発して空港に向かい、国内便でウボンラチャタニに向かいました。ちなみに日本とタイの時差は2時間です。

この日も朝ホテルから空港に向かうバスの中でお弁当を5時に食べ、機内食を7時半に食べ、ウボンラチャタニに着いて9時に3回目の朝食をとりました。ほとんどフードファイト状態でしたが、これは予兆にすぎませんでした。

朝食後は75kmかけてアムナトチャロウエンに行きWC S最初の事業検証を行いました。道中

は赤土の道路でバスの隙間から大量の砂ぼこりが舞い大変な思いで目的地の小学校に着きました。学校では子供たちが日本とタイの国旗を持ちサワディーカップと手を合わせて歓迎してくれました。

この小学校は70人の生徒が通っておりました。以前は裸足の子供たちが多かったみたいですが、外国の支援により今は靴を履ける子供が増えたそうです。周りの民家はどこもタイ式の高床式住宅で雨季の雨をしのいでいるそうです。

私たちの浄水器の事業により、学校だけではなく村人も学校に水を汲みに来て雨水や川水や泥水を飲まなくてよくなり、タイの平均寿命が5年ぐらい伸びるような気がしました。

別の小学校には図書室に本を送ったので検証いたしました。



タイの子供に一番人気があるのは「ドラえもん」だそうです。歓迎の品としてファーコマというこの町の織物をいただきました。ここから40km移動して病院を訪問し、移動歯科の器具(ユニット)を見学しました。値段は1台300万円ぐらいするのを3台で約1千万円で2年目の継続事業みたいです。

この病院で説明を受ける際にローズリング(梨に近い味)と野菜ジュースをごちそうになりました。すべての食事にカロリー表がついているのに感心しました。

この日の最後にマッキンググランドの支援を受けている小学校に行きました。ここでも歓迎と食事をご馳走になりました。メニューはビタミンご飯(何の味もしない)・5穀米、鶏肉料理、どじょうスープソムタイ(イサン料理『東北地区のこと』)バナナ、ミカンでした。

このあと、予定になかった小学校(昨年図書支援)が是非立ち寄ってくださいと言うので40km移動して立ち寄ったところ、男の子はムエタイダンス、女の子はフラフープダンスの歓迎を受けました。

すっかり時間をかけてしまいこれから200km離れたナコンパノム(ラオスとの国境のメコン河のリバーサイドホテル)に向かい8時半くらいに到着してタイに来て初めて食事らしい食事をしてビールとワインをいただきました。

食後は疲れた体を癒すのにタイ式マッサージを受けました。ちなみに料金は2時間で450バーツ(1,350円)とチップ50バーツ。レートは100バーツ300円ぐらいです。100バーツでタイのセブンイレブンでは、ペプシ、チョコポッキー3個、肉まん2個、ガムが買えました。

翌朝は5時起床の6時朝食バイキングでした。ほんの7~8分ぐらいでしたがメコン河が朝焼けで水面が真っ赤に染まる神秘を目撃しました。6時半に出発し移動距離300kmをかけてノンカイに着きました。私はタイに来て毛布2枚にくるまって寒さをしのぐとは予想もしませんでした。バスが古く、エアコンの操作が故障しているとのことでした。一度ノンカイグランドホテルに荷物を置き、新しいバスに乗り換えて昼食会場に向かう時に事件は起こりました。

私の隣の席にいたはずの滝川RCで地区の国際奉仕委員長の谷口さんがいないことに気づき声を大にして言ったところ、ホテルでトイレに行っている間にバスが出発してしまったそうです。結局ノンカイRCの人が迎えに行き事なきを得ました。

この日も3つの小学校を検証して回りました。

最後の小学校では最後に私がスピーチしました。後でDVDをご覧ください。

夜はノンカイRCとの交流会を兼ねて夕食例会で親睦を深めました。

その後、田中先生はマッサージに行き、私は

若いロータリアンと飲みに行き1時には床に就きました。

翌朝はリバーサイドカフェでコーヒーをいただき、ノンカイRCの皆さんに見送られました。

ウドンタニ空港から出発する間際に、タイの王族が来たため30分間停止した状態が続きましたが、15分遅れでバンコクに到着しホテルにチェックイン後、バンコクRCとの例会前に、ショッピング組とマッサージ組に分かれてそれぞれ時間を過ごしました。

夜はベツツと重なったらしく人数が少なかったのですがソンプーンさん(タイGSE引率者)と本当に有意義な交流が出来たと思います。例会でタイノンカイのメーキャップカードをいただき感動しました。

翌日無事帰国して、私は成田空港で千歳行きを待つ間にアントニオ猪木に会い、握手してもらいましたが、気合注入してもらえなかったのが残念でなりません。

千歳からは事故で北広島間通行止めで深夜の帰宅となりました。

先日11日に札幌駅のパセオ中華料理にて、安着会に田中先生と参加してまいりました。過酷なツアーだったのに誰一人もう参加したくないと言わないことに驚きました。やはり奉仕だからでしょうか。

最後に私より高齢な岩城バスタガバナー(84歳)の元気に頭が下がる思いでした。ガバナーの条件はお金と名誉だけではなく、健康でなければならないと思いました。私自身留萌ロータリークラブに対して色々な思いがありますが、50周年を迎えるにあたって親睦だけにとられない奉仕の理想を今一度会員みんなで考えて、次世代につなぎ永遠の灯を消すことなくロータリーが存続していくことを祈りたいと考えています。つたない説明でしたがご清聴ありがとうございました。

例会プログラム【3月】

3月30日(水) 会員卓話「電気が家庭に届く仕組みについて」

斎藤 敏夫 会員